



CEO Message

「世の中の役に立つ資産運用会社」 であるために

CEO兼代表取締役社長

小池 広靖

新型コロナウイルスによる世界的な混乱が収束し、ようやく日常生活を過ごすことができるようになってきました。過去数年の特異な状況を経験した私たちだからこそ、日々の平穏な時を過ごせることに感謝する気持ちを忘れることなく、様々な活動に生かしていくことが求められると思います。足元では、新たな地政学的リスクの発生に加えて、日本や世界の各地において、気候変動に関連した様々な災害が発生しています。今年の年頭には、世界気象機関(WMO)が、2023年の世界の平均気温が観測史上最も高かったと発表しています。地域や国に根差した問題や地球規模での課題は、ますます深刻化、複雑化しています。改めて、様々な社会課題に対して私たちがどのように行動すべきなのかを考える時にあります。

地政学的リスクによる混乱は、エネルギー価格の大幅

な変動をもたらしています。大幅な価格変動は、「化石燃料への依存をどうするのか」という課題を通じて、将来のエネルギー需給バランスを左右することになります。そして、実際の企業の設備投資計画などへも影響を与え、事業の不確実性を高めることにつながります。また、気温上昇による災害の発生は、私たちに「持続可能な社会をどのように構築するのか」という問題を提起しています。

例えば、気候変動が大きくなることで、水や食糧不足が生じて移民が増加し、その結果新たな地政学的リスクが発生するという負の循環を生み出す可能性もあります。気候変動のように地球規模で取り組むべき課題は、人権問題などSDGsが掲げる社会的な課題とも密接に関連しています。このように、私たちは気候変動などを一つの問題としてではなく、様々な課題と関連した多面的なもの

として捉えていく必要があると考えています。

当社は「責任ある投資家」として、資産運用ビジネスを通じた「社会的価値」と「経済的価値」の両立を目指しています。社会課題の解決に向けて軸となる考えが、インベストメント・チェーン(投資の好循環)です。経済的利益を創出する企業は、「持続可能な豊かな社会」への貢献が十分に可能です。「資産運用会社」は、投資によって「投資家」と「企業」を結び付けることにより、投資の好循環を生み出し、「持続可能な豊かな社会の実現」に向けて重要な役割を担います。

これが当社の軸としているインベストメント・チェーンの考え方です。この好循環を支えるためには、資産運用会社と投資先企業との建設的な対話「エンゲージメント」が欠かせません。こうした対話をベースに、当社が求める「望

ましい経営」の実現、「人的資本」の活用による企業価値向上のために、企業のESG・SDGsへの取組みを後押ししたいと考えています。

最後に、当社は「責任ある機関投資家」としてだけではなく、「世の中に役立つ運用会社」として私たち自身も変化を恐れず、最良のESGプロダクトを提供し、企業価値向上と持続可能な社会の構築という道を歩み続けます。資産運用ビジネスの本質は、お客様のニーズに対応した商品、最良のパフォーマンスとサービスの提供です。そして、その提供の過程で、「経済的価値」の創出だけではなく「社会的価値」を創出することが、当社の責務であると考えています。

Expertise to Exceed¹

時代を先駆ける専門性と先見性を力に。

卓越したパフォーマンスとソリューションを追求することで、期待のさらにその先へ。